

## 会議録

日 時	平成30年11月26日(月) 午後6時30分から午後8時
会 場	市役所4階 会議室4C,D
出席委員	北側委員長、櫻井委員、本橋委員、山口委員、橋本委員、岡本委員
欠席委員	小川委員、古木委員、濱田委員、高屋委員
市出席者	吉田課長、山田主査、古内主事、坂下主事

## ■開会(午後6時30分)

## ■社会教育委員長あいさつ

## ■報告事項

## (1) 各種研修会について

委 員：口頭及び資料に基づき報告。

委 員 長：質問等ありますか。

委 員：北海道は海外からの観光客が多いので、それに伴い外国人労働者が増えていくかも知れませんが。

委 員：倶知安町とニセコ町は、異なる文化を持つ外国人に対して寛容であり、地域の融合性の良いモデルではないかと思えます。

委 員：今後ボールパークが完成すれば、世界中から人が来るかもしれません。そういった方々を受け入れていくためには、我々も頭をやわらかくして、様々な事柄に対応できるようにしなければいけませんね。

委 員：そのためには地元住民がもっと北広島のことを理解しておく必要がありますね。

委 員 長：よろしいでしょうか。続いて事業の進捗状況についてお願いいたします。

## (2) 社会教育課所管事項の進捗状況について

事 務 局：資料に基づき説明。

委 員 長：質問等ありますか。ないようなので、次に参ります。事務局よりお願いいたします。

## (3) 2019年推進計画内示について

事 務 局：資料に基づき説明。

委 員 長：放課後子供教室は、東部小学校のところに増設されるのですね。指導員は足りるのでしょうか。

事 務 局：前年度までは、学習と体育活動のみでしたが、指導員不足ということもあり、ヒップホップダンスや空手道、手話等の様々な体験活動のプログラムを用意しておりますので、指導員数は問題ありません。

委 員 長：様々な事業を実施されていますが、高齢化等により参加団体や参加者が少ないということから事業の見直しが増えていますね。

事 務 局：特に公民館まつりは、昔から中央公民館を利用いただいている団体でそのまま実施してきているので、顕著だと思います。しかしながら、団体の新陳代謝を図るのは難しい状況にあります。

委 員：総合文化祭にも関わっていますが、同じ状況です。若い世代が市内の色々なことに興味、関心をもっと持ってくれば良いのですが。何か対策をとらないと厳しくなってくると思います。

委 員 長：見直しとは言っても、どのような形でというのは今のところ見えないですか。

事 務 局：現在行っている、一日日程で多くの団体が一堂に会して実施するようなお祭り形式ではなくても活動発表の場の確保はできるのではないかと考えております。例えば公民館まつりでは、物を創作する団体向けに常設展示コーナーを設けて月ごとに企画展を開催する。というような方法が考えられます。あとは、文化祭等と連携することで、

## 会議録

発表の場を確保する方法があると思います。

委員長：よろしいでしょうか。それでは報告事項を終わりにして、協議事項に参ります。事務局よりお願いいたします。

### ■協議事項

(1) 公民館事業について

事務局：資料に基づき説明。

委員：資料に基づき説明。

委員：地元の人が地元を知るといのは大切なことだと思います。課題はやはり人口減少だと思います。高齢者だけでなく若い世代の参加がもっとあれば世代間交流にもなり、良いと思います。

事務局：市民のニーズがあるかという部分を精査しなければなりません、いただいた案の精度を高めていって事業化するというはおもしろいと思います。

委員：小学生や中学生が考える北広島市の将来像とお年寄りが考える北広島市の将来像はきっと大きく違うと思います。話し合えれば世代間交流にもなるし、おもしろいですよね。

事務局：実施するとなつて、広報で周知をしたときに、実際に広い年代の参加者が集まってくるのか。という部分の難しさはあるように思います。

委員：ぜひお知恵をいただきたい部分です。できればグループディスカッションの時間を設けて、そこで出た意見を市のほうで吸い上げていくようなことも考えていければいいですね。

事務局：1グループ5～6人として、5つくらいのグループを作るとなると定員30名くらいですね。上手く世代がばらけるようにするには内容等の精査は必要だと思います。

委員：人を集めるのであれば、例えば、健全育成連絡協議会の「アンビシャスフォーラム」と連携できれば、健全育成連絡協議会役員と中学校生徒会の子はいますし、パネルディスカッションをしますので、テーマに沿った内容でできれば良い手だと思います。

事務局：人が集まっているところで実施するというのは良い手ですね。色々なところと連携できないか考えてみます。

委員：まちづくり、ひとづくりのテーマは「アンビシャスフォーラム」でも合致すると思います。

委員長：8月に中央公民館で実施した、北海学園大学とコラボした地元学は、今後シリーズ化していきますか。

事務局：エコミュージアムセンターが事務局をしているまちを好きになる市民大学さんや生涯学習振興会でも似たような事業をしまして、それらとは違った意味合いや内容等の整理は必要かと思ひます。北海学園大学の教授の方はまたぜひ実施できればとおっしゃっていただいています。

委員：昔と違っていまは、色んなところで色んなことをしています。その中でも整理をつけたり、一緒にやってみたりして、中央公民館が頑張っていく意義はあると思います。中央公民館を代表する事業がなにかできればいいですね。

事務局：地元学のように、地元を知って郷土愛を醸成していく方法もあれば、他の市町村を見て、北広島のことを好きになるということもあると思います。「まちを知る」ということの色合いを変えていけば「似たようなこと」にはならないのではないかと思います。

委員長：ほかにありますでしょうか。今後、引き続き検討していくということですね。次に参ります。その他を事務局よりお願いいたします。

# 会議録

---

## ■その他

(1) 北広島市スポーツ推進審議会に係る傍聴のご案内について

事務局：資料に基づき説明。

委員長：なにかありますでしょうか。ではこれで会議を終わらせていただきます。ありがとうございました。

○閉会（午後 8 時）

会議録署名委員

---